

事業所における自己評価(公表)

放課後デイサービス

公表: 令和3年5月

事業所名 乳幼児親子教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			基準を満たしているが、十分とは言えない面がある。人数に合わせて部屋を分けている。
	2	職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			バリアフリーの必要性があれば工夫していくつもりである。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			反省会を含む当日の様子をその都度振り返り次回に活かすようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			結果を受けて改善できそうな項目から取り組んで業務改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	<input type="radio"/>			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	<input type="radio"/>			月に一回、学齢クラスの職員全員で研修を行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	<input type="radio"/>			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>			子どもの人数や発達段階に応じて内容を工夫している。継続した方が良い場合は継続している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	<input type="radio"/>			週一回のクラスのため季節は関係なく状況に応じて設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			集団活動に重きを置いているため個別活動はないが、年に一回心理指導を設定している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをしその日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	<input type="radio"/>			その日の大まかな活動を伝えている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			必ず振り返りを行い記録をとっている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個人・クラス・事業所としての振り返りを記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		6か月に一度モニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		クラス担任、個人担当が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。		○	学校と直接のやり取りはしていない、必要があればいつでも情報共有をしたいと思っている。保護者から年間予定を提供してもらっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	○		必要に応じて連携体制を取れるよう考えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		当法人の児童発達支援事業を利用されていた方がほとんどのため、法人内で引継ぎを行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	小学校6年生までの在籍が上限の為実績がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○		区が主催する連会議への出席や研修を実施している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。		○	通常学級や支援学級在籍の方が対象のため改めて設定する必要がない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		面談の他に送迎時にお話するようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等支援を行っているか。	○		日頃の面談や保護者とのやり取りで保護者支援を行なっている。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		その都度必要であれば速やかに面談を行い迅速な対応を心掛けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	○		現在はコロナ禍で難しいが、懇談会や父親だけ母親だけの交流会を設定している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		体制は整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		

	35	個人情報に十分注意しているか	<input type="radio"/>			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>			個人情報の問題上、事業所内に招待することは難しいが、地域の公園にてお祭りを開催している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	<input type="radio"/>			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			コロナ禍で避難訓練は行わなかったが、災害時の避難について子ども達に話す機会を作っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			日々話し合いで共通理解はできている。保護者にも必要に応じて個別に話、子により理解を得るようにしている。今後は個別支援計画にも記載していく予定。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			保護者から聞き取り、必要に応じて医者からの意見書などを提出してもらっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内有しているか。	<input type="radio"/>			必ず記録を取っている。